

環境調査事業”シナダレスズメガヤ駆除とカワラノギク育成” (2)

相模川神川橋下圃場のカワラノギク播種報告

2011年5月14日(土) ①11時20分～ 参加:7名
播種作業 ②15時00分～ 参加:1名

記:中門

- 1)シナダレスズメガヤで覆われた相模川神川橋下を玉石河原に復元するためのシンボルとしてカワラノギクの再生に取り組みます。
- 2)上流の神沢河原圃場で採取した種を協働で取り組む『さむかわエコネット自然環境部会』の皆さんが播種しました。

【種を圃場の土で混ぜます】
・神沢河原で採集した種に神川橋下圃場の土を相模川の水で混ぜて柔らかく種を保護します。



【初めてなので皆さん気になります】
・どれだけの土を混ぜた方が良いか芽が出やすいのか手探りで進めましたが、土が湿ったくらいで軽く種を包む位が良いようです。



【どこに蒔いたが良いかな～】
・佐藤さんが大きい声で”この辺で良いか～”と聞きますが、どんな感じが良いのか分からず皆さん返事ができません。



【種蒔き(播種)-その①】
・玉石が多く出ているところを中心にできるだけ幅広く蒔きます。



【種蒔き(播種)-その②】
・5月14日(土)12時～真昼の種まきが無事終了しました。『さむかわエコネット』のみなさんが寒川の河川敷に”カワラノギク再生”の第一歩。



【種蒔き(播種)-その③】
・15時に用事を終えた渡辺さんが駆けつけて残りの種を蒔きました。元気に発芽することを願うばかりです。



【播種3日後に早くも芽生え?】
・5月17日(火)18時過ぎに撮影。雨上がりの圃場に播種したカワラノギクの枝の横に芽生えたばかりの双葉が見えます。



【上流からの温かいアドバイス】
・”さがみはら地域協議会”の仲間から5月に芽生えた双葉の写真を送られて新芽がカワラノギクの双葉であることを確認。

